

第1 管内農業の概況

1 立地条件

(1) 自然的条件

管内は石川県の最南端に位置し、東に県の最高峰である白山(2,702m)、西に日本海を望む水と緑に囲まれた地域で、3市1町(小松市、加賀市、能美市、川北町)から構成され、広さ南北35km、東西33kmで県下の約19%の広さを持つ地域である。

地形は、管内の最高峰である大日山(1,368m)山系に連なる山岳地帯と、そこを源とする梯川、大聖寺川、動橋川及び県下最大の河川で白山を源とする手取川が横断する平野部からなっている。手取川、梯川、大聖寺川、動橋川の扇状地と今江瀉や柴山瀉の干拓地並びに木場瀉周辺は、水田として利用されている。また、海岸線沿いの一部には洪積台地や海岸砂丘が広がっており、土性は手取川沿いに砂壤土、その他の地域に埴壤土から粘質土が広がっている。

気象は典型的な日本海側気候で、夏季は気温が高く雨量が少ない。反面、冬季は低温で雨量が多く日照時間が極めて少ない。

(2) 社会的、経済的条件

地域内にはJR北陸本線、国道8号線、加賀産業道路及び北陸自動車道が走り、県都金沢市へはむろんのこと、京阪神や中京地区へも交通の便は良い。

また、北陸の空の交通の要としての小松空港があり、国内線は羽田、成田、札幌、仙台、福岡、那覇、国際線はソウル、上海、香港、台北へ就航し、交流人口は多い。

管内には、山中・山代・片山津・粟津といった温泉郷や九谷焼、山中漆器などの伝統工芸産業が育まれ、地域産業の基盤となっている。

2 農業の現状

(1) 農家数及び農家人口

(単位：戸、人)

市町名	総農家数	販売農家数				農業人口及び農業従事者数(販売農家)			
		(計) 総農家数	専 兼 別			農家世帯員数	農 業 従 事 者 数 (15才以上)		
			専 業	第1種 兼 業	第2種 兼 業		計	男	女
小松市	1,128	829	178	122	529	3,379	2,181	1,257	924
加賀市	1,107	934	172	120	642	3,813	2,467	1,434	1,033
能美市	548	407	70	42	295	1,702	1,159	656	503
川北町	253	188	43	20	125	770	513	282	231
合 計	3,036	2,358	463	304	1,591	9,664	6,320	3,629	2,691

「2015年世界農林業センサス」

(2) 耕地面積

(単位：ha)

市町名	総耕地面積	田耕地	畑耕地
小松市	3,910	3,550	361
加賀市	3,460	3,090	372
能美市	1,840	1,700	132
川北町	769	755	14
合計	9,979	9,095	879

「出典：農林水産省 面積調査 市町村別データ 令和元年」
 ※総耕地面積の数値はラウンドの関係で計と一致しない

管内の総耕地面積に占める水田の割合が91%となっている。

(3) 農作物栽培面積

(単位：ha)

市町名	水稲	六条大麦	小麦	大豆	野菜	果樹	たばこ	い草
小松市	2,910	315	39	190	30	6	2	1
加賀市	2,410	32	—	146	171	88	—	—
能美市	1,370	171	—	82	16	0	—	—
川北町	560	145	—	117	3	2	—	—
合計	7,250	663	39	535	220	96	2	1

南加賀農林総合事務所調べ (R元)
 ※野菜・果樹については直売所販売用の栽培面積があるが、
 詳細不明のため含めていない

作目別栽培面積では水稲が最も大きく、次いで六条大麦である。麦類、豆類は水田転作によるものが大半を占めているので年による増減が大きい。